

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月 刊

同友

8 2025
月号

vol.709

あおぞらは
みんなを笑顔にする!



有限会社
 あおぞら保険
損害保険 + 生命保険

特 集

支援事業所応援イベント
第28回 福岡フレンドシップ
フェスティバル2025

福岡県中小企業家同友会

 広報情報部
Facebook



[デザインQR]

21世紀型
自立型
企業づくり

あおぞらは みんなを笑顔にする!
～持続可能な組織づくりに挑む～

かわ ぞえ りょう へい

川添 良平 氏 (有限会社 あおぞら保険)

特集

支援事業所応援イベント

第28回

福岡フレンドシップフェスティバル 2025

タイトルロゴ：宮崎奈津子実行委員長

ペン字講座をされていた宮崎さんは、支部会員からの例会チラシのタイトル依頼で好評を得ました。その実績が評価され、フレンドシップフェスティバルの実行委員としてもタイトル制作を担当しました。

イベント：第28回 福岡フレンドシップフェスティバル2025

開催日：2025年4月20日(日) 10:00~16:00

会場：福岡市役所西側ふれあい広場



文：新井理恵子（ちんどん鈴乃家／かすや支部）

福岡同友会福岡地区会主催の「福岡フレンドシップフェスティバル」に足を運ばれたことはありますか？

支部例会などに青年支部の実行委員の方が熱い思いとチケットの束を握りしめてお知らせに來られて、それで知ったという会員の方も多いのではないのでしょうか？私もその一人です！

このイベントは、障がいのある仲間たちが様々な形で働いている支援事業所があること、支援事業所毎に特色があることなど、支援事業所の事をより多くの方に知ってもらい、支援事業所を応援する目的で開催されています。製品販売や飲食、ステージパフォーマンス、パラリンピック正式種目の「ボッチャ」体験等を通じて、障がいの有無に関わらず誰もが楽しめるノーマライゼーション社会の実現を目指し、実行委員それぞれの熱い思いが集結し、この場を紡ぎあげています。

ノーマライゼーションとは？

すべての人々が地域社会の中で、ごく当たり前に「ノーマル」の生活を営むことができるように、社会のあり方を変えていこうという考え方。単に物理的なバリアフリー化だけでなく、制度、意識、情報面など、あらゆる面での障壁を取り除くことを含んでいます。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的な近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



川添良平氏（筑紫支部）
かわぞえ りょうへい
有限会社あおぞら保険
常務取締役

詳しくは本誌7ページへ

私が川添さんを紹介します！



とくのう労務管理事務所
代表者
とくのう よしき
得能 芳樹（筑紫支部）

物腰は柔らかく秘める想いは
熱い筑紫支部のホープ、
川添良平さんを紹介します。

川添さんとの出会いは、2020年の緊急事態宣言明けの初めての例会だったと記憶しています。コロナ禍に入会した川添さんは、制約がある中でも積極的に例会等に参加して、1年後には例会で事業承継について報告、今では副支部長として支部を引っ張っていくまでに飛躍されました。川添さんの同友会に対する直向きな姿勢には「すごい」という

しかありません。

また、川添さんは若手経営者としても輝いています。

難病があり保険に入ることを諦めていた私は、川添さんに軽い気持ちで「難病だつて保険に入りたいよね」と話をしたところ、即座に四方八方手を尽くして調べてくれました。結果は残念なものでしたが、川添さんの顧客に対する寄り添う姿、真摯な姿勢に私は虜になりました。何かあっても必ず助けてくれると確信し、今では家族の保険を全て川添さんにお願ひしています。

東に勉強会があれば学びに行き、西に懇親会があれば楽しく語る。私はそんな川添さんと一緒に筑紫支部をこれからも盛り上げていきたいと思っています。

撮影後記



撮影／同友会事務局 長尾 裕美

有限会社あおぞら保険の常務取締役 川添良平さんをお訪ねしました。

ビッグモーターと損保ジャパン事件を向かい風に、厳しい状況にもかかわらず、社員さんやスタッフさんを大切にしながら、筑紫地域で生まれた代理店として地域に愛され、必要とされる代理店を目指して努力されている様子がうかがえました。

インタビューの中では、「感謝」という言葉を何度も口にされ、とても心に残る印象的なひと言でした。

当日は、社名のとおりの青空に恵まれたなかでの撮影・取材となりました。まさに「あおぞらはみんなを笑顔にする!」という言葉どおりの一日でした。ご協力ありがとうございました。

文／株式会社ミドリ印刷 坂本 ゆかり（中央支部）

“デザインQR”とは？

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



宮崎実行委員長がおっしゃるように、支援事業所を取り巻く環境はまだまだ厳しく、また、私たち企業側も同じく厳しい環境の中、障がいの有無に関わらず、

知ること助け合える！

今回のフレンドシップフェスティバルは、「すべての人が自分らしく輝ける社会へ」という素敵なテーマのもと開催されました。

運営費を捻出する為のひとつとして、当日は実行委員会による出店も同時進行しています。その為、当日の支援事業所出店のお手伝いが手薄になる事態が起きています。目的のひとつである「支援事業所を応援する」為にも、イベント当日に支援事業所をしっかりサポートできるような体制づくりは今後の課題だそうです。

支援事業所の参加も増え、お客様も増える中で、同じく増えていくのが設営費用の問題。

当日ももっと応援したい！

どんなイベントでも、心配する要素として「集客」があると思いますが、幸いこのフレンドシップフェスティバルは、このように毎回大賑わいで、まさに恒例のお祭りになっています。しかし、課題がないわけではありません。

支援事業所の参加も増え、お客様も増える中で、同じく増えていくのが設営費用の問題。



実行委員のみなさん

お互い助け合うことができます。重要となつてきています。

一人ひとりの個性や能力を「知ること」と、そして「知る機会を作ること」は、誰もが活躍できる社会を目指す一歩になります。「国民や地域と共に歩む企業づくり」の一環として、今後もフレンドシップフェスティバルを会員一丸となつて盛り上げていきましょう！

まずは自分たちが知ろう！

これまでは青年支部の運営で開催されていましたが、「より広く知ってもらう」という課題解決の為、今回から福岡地区会へ運営体制を変えました。毎年メンバーが変わる実行委員会には、フレンドシップフェスティバルに参加したことのないメンバーや、障がい者雇用や支援事業所と普段関わりがないメンバーも含まれます。



第28回福岡フレンドシップフェスティバル実行委員長 宮崎 奈津子氏（青年支部／株式会社コスミット・アイ）

また、夏前に実行委員会が発足してから、開催日が決定する冬頃までの間、毎年活動が緩やかになってしまい実行委員のモチベーション維持に難しさがありました。

宮崎実行委員長は「まずは実行委員の自分たちが支援事業所をもっと知ろう」「準備期間を利用して、より多くの支援事業所に足を運び関係を深めよう」と考え、例年だと開催日決定から動き出す部分を、開催日決定前に動き出すことにしました。

その工夫により、事前の支援事業所訪問数が増え、実行委員が支援事業所の現場を「知る」機会が増えました。また、支援事業所の方からの意見やアドバイスにも恵まれ、新しいアイデアも出てきました。

また、夏前に実行委員会が発足してから、開催日が決定する冬頃までの間、毎年活動が緩やかになってしまい実行委員のモチベーション維持に難しさがありました。

宮崎実行委員長は「まずは実行委員の自分たちが支援事業所をもっと知ろう」「準備期間を利用して、より多くの支援事業所に足を運び関係を深めよう」と考え、例年だと開催日決定から動き出す部分を、開催日決定前に動き出すことにしました。

その工夫により、事前の支援事業所訪問数が増え、実行委員が支援事業所の現場を「知る」機会が増えました。また、支援事業所の方からの意見やアドバイスにも恵まれ、新しいアイデアも出てきました。



出店したいイベントに！

回を重ねる毎に支援事業所との連携を深め、毎回出店をしてくださる支援事業所や新規出店の支援事業所まで仲間が増えており、今回は29カ所の支援事業所が参加し、福岡最大級の支援事業所イベントとなっています。また、数ある支援事業所イベントの中でも売り上げが見込めることも魅力で、事務局に直接出店希望の問い合わせがあるなど、出店したいイベントへと成長しています！

毎年約2,000人もの人々が足を運ぶ福岡フレンドシップフェスティバル。

今回は雨の心配も何のその！例年通りの大賑わいでした。

福岡地区会へと運営体制を変えた工夫も功を奏して、会員への周知が進み、はじめて来場する方も増えました。さらに、福岡市役所西側ふれあい広場というオープンな空間が、通りすがりの方をふらりと立ち寄らせ、素敵な出会いへと変えています。

また、お祭り気分を盛り上げるためのステージパフォーマンスでは、地元アーティストやアイドルの歌やダンスが会場を沸かせ、支援事業所で働く仲間による演奏も大きな拍手を集めました。出演者による積極的なSNS告知も、



イベントステージ



出店の様子

多くの来場を呼び込む一因となりました。



あおぞらは
みんなを笑顔にする！
持続可能な組織づくりに挑む

今回は筑紫野市にある有限会社あおぞら保険 常務取締役 川添良平さんに出迎えていただき、その後、父親で代表取締役の川添廣志さんが応接室にいらしていました。祖父の川添隆助さんの著した『自叙伝』を携えています。福岡同友会は1963年に創立していますが、隆助さんはその翌年に入会しています。特に同友会が全国組織化(69年)する運動にご尽力されています。同社は福岡同友会とともに歩み続けています。

改めて沿革をお聞きました。隆助さんが65年に株式会社川添物産の保険部として創業させ、損害保険代理店・生命保険募集代理店として事業を展開していきます。その後88年に廣志さんが創立、2005年に現在の社名に変更しました。四半世紀にわたる保険業界の再編成で

同友会とともに歩む

有限会社あおぞら保険 常務取締役
かわぞえ 良平 氏【筑紫支部】
業務の属人化の功罪を検証しつつ、同友会での学びを活かし『組織化』に奮闘する報告です。

取材／広報部
文章／菅原 弘(東支部)
写真／長尾裕美



社員は増えていきました。一方で、売上の柱である自動車保険では、自動車転や高齢化、自動車離れなど取り巻く環境の変化が出ています。また相次ぐ自然災害などで保険業界は厳しい状況にあります。



代表取締役 川添 廣志さん(元筑紫支部会員)からもお話を伺いました(写真右)

支援事業所のご紹介

29事業所が参加!支援事業所で制作した商品の販売や、サービスなど、見どころたくさん!!

- | | | | |
|-----------|-------------------|------------------|---------------|
| 1 セルブちくほ | 9 風ひかり作業所 | 17 あいびー福岡薬院 | 25 ひまわり園 |
| 2 タイム | 10 ひかり作業所 | 18 セルブ清浄 菓子工房さくら | 26 ひまわりパーク六本松 |
| 3 野の花会 | 11 ゆり庵 | 19 合同会社ゆめいろ舎 | 27 たかとり福祉会 |
| 4 ぎやらいいゆう | 12 一般社団法人 れんこん | 20 楽 | 28 Create803 |
| 5 まりも | 13 ねおん | 21 芙蓉 | 29 宰府園 |
| 6 Re:Re | 14 SMILE PRESENTS | 22 ヴィオラ | |
| 7 工房陶友 | 15 株式会社カルペ・ディエム | 23 ゴーマル | |
| 8 かしはらホーム | 16 アムス | 24 やまと更生センター | |



取材後記



ちんどん鈴乃家の活動の中でも、支援事業所との関わりがあります。

支援事業所イベント会場にて、イベント告知や会場を盛り上げるパフォーマンス為の出演であったり、支援事業所のお祭りやコンサートへの出演などを行っています。また、障がいのある子供たちとちんどん屋体験ワークショップをすることもあります。

宮崎実行委員長のお話から、「知る」ということが、ご自身の活動に新たな広がりをもたらしたという点に、深く共感いたしました。

これは、私自身の経験とも共通しており、支援事業所で働く方々と関わることで、それまで見えなかった可能性や、新たな視点が生まれ、結果として活動の幅が広がっていくことを実感しております。

また、実行委員会での活動は、他支部の会員との交流が活発になり、普段の活動だけでは得られない貴重な情報や、新たな人脈を築ける大きなメリットがあることがわかります。

この広がり、福岡地区のスローガンである「不離一体」の精神を体現することにもなると感じました。

これからもフレンドシップフェスティバル、見逃し厳禁です！次はどんな素敵な「知る」体験が待っているのか、ワクワクです！

生い立ち

良平さんは91年、川添家の四男として生まれました。長男は大手保険会社に勤め「この会社で働く」と宣言しています。次男はJ・R、三男は薬品関係の会社に勤め、それぞれ希望する道を選んでいきます。

良平さんは東福岡高校に進み野球部に所属しました。1年生の時に甲子園出場も経験しています(佐賀北高校のがばい旋風の年)。その後、同志社大学、地元銀行と進みました(野球も継続しました)。「会社を継ぐ気はなかった」と言います。

銀行では融資担当になりました。中小企業の社長さんたちが、社員のために、地域貢献のために奮闘している現場を



会社外観

社員一人一人が感謝・思いやりを持って対応している企業

員さんに相談して回りました。「会社が変わる時は何か起きるものだよ。やめていった人をとかく言うより、今いる人たちを大切にしておくことだよ」というアドバイスに、目からうろこが落ちました。

会社全体でお客様対応を行う体制にしました。均一な営業、スキルによる差をなくそうとマニュアル化し持続可能な組織を目指すことにしました。お客様からの反発も想定されましたが、スムーズに移行することができました。

「お客様を会社全体でチームワークを組んで協力してお守りするという考え方を浸透させました」。

それは働き方改革にも繋がり、社員が休暇を取りやすくなりました。「社員といえども人間です。リフレッシュしないと、いいパフォーマンスは生まれません」。

新しく社員を採用

社長からすべて任せられ、川添さん主導で新しく2名の社員を採用しました。

「この時は保険業界未経験の人というのにこだわりました」。その2名が今や川添さんの両腕となり理念の浸透や

目の当たりにし、「自分の祖父や父もそうなのだろう。会社を継続させ、社員を守り地域に貢献している」と思うようになりました。保険業はお客様が困ったときに一番が来ます。子どもの頃、父親は朝から晩まで働き、土日も家にいなかったことを思い出しました。「以前から会社を継ぐのも一つの選択肢だよ」と言われていました。川添さんは、「自分はそれまで好きなことをさせてもらって育ちました。親孝行の意味も含め、そして自分も会社のために社員さんのために地域のために継ぐ」と決意しました。

あおぞら保険に入社

2020年1月、後継者として入社します。周囲は「社長の息子が入ってきた」「銀行で仕事していた」と注目を集めていました。保険会社の研修を受けますが思うような実績を作れず苦勞します。

研修を終えて社に戻りました。20歳以上離れた社員からの視線が痛く、プレッシャーを感じていました。一方で、社員とは名ばかりで個人の集団で、有機的な組織になっていない」と感じていました。

同友会で学ぶ

川添さんは、同友会に2020年2月に入会し、あすなろ塾、経営指針作成セミナーを受講しました。同社の経営理念



代理店表彰の盾

会社の組織化に向けて奮闘しています。24年12月、25年4月に新しく営業社員を3名採用し、新しい風を社内に吹き込んでいます。

理念にあるように、保険の販売人から真のリスクアドバイザーを目指しています。

「保険の押し売りはやめよう」と決めました。更新の時だけの連絡ではこれからは生き残っていきません。何かあった場合に安心して相談をしていただけ代理店になろうと話をしていました」。

対面の営業を基本としていますが、今後お客様によってはデジタルの活用も選択肢の一つと考えています。

また、最近では企業・団体向けのセミナーに取り組んでいます。年金定期便やがん保険の説明など好評を得ています。

は創立時に社長が作成していましたが、敢えて、「自分で作り直してみたい」と社長に申し出ました。同友会の良さを熟知する社長はそれを容認しました。セミナーから戻り、自分で作成した経営理念を幹部や社員に披露したところ文言は違えども同じことを言っているという感想、反応でした。

経営理念

同社の経営理念は次の通りです。

あおぞらはみんなを笑顔にする！

- 1、お客様の総合リスク診断を軸にその対策として「保険」があることを念頭に仕事をしています。
- 2、感謝の心を軸に良心・公平・正義を行動基準に仕事をしています。
- 3、筑紫地域で生まれた代理店として、地域で愛され必要とされる代理店を目指しています。

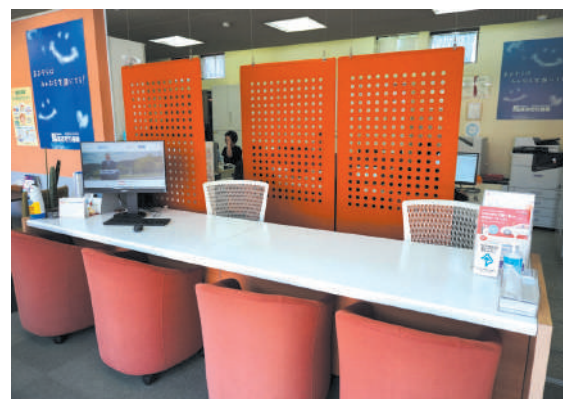
ビジョンを示す

理念にある『みんな』とは「顧客と社員」を指します。ビジョンでは顧客満足より従業員満足重視すると謳っています。「社員が満足しないことには、お客様を満足することはできないでしょう」と川添さんは断言します。社員が夢やキャリアを描ける会社づくりに取り組んでいます。

3年後には社長を継承することを視野に入れています。

「社員に好かれる経営者よりも、厳しさも持ち合わせ尊敬される経営者になりたいと思っています」。

地域に根差す活動としてメセナ活動(広告宣伝や販売促進・営利目的ではなく、社会的責任の一環としての文化活動)も行っており、社長が九州国立博物館の



受付



社長が撮影している風景写真

有機的な組織化を目指す

業務は属人化(特定の担当者に業務を依存していること)していました。同友会での学びを活かし、持続可能な組織を目指すためにこの経営風土を変えようと決めました。担当歴が長いとお客様のことを熟知していますが、その担当がないと対応できなくなったことがありました。

それまでの評価制度や給与制度を変え年俸制も廃止しました。こういったことも含め不満を感じたのでしよう、川添さんより経験の長い4人の営業社員が全員退社していきました。

川添さんは悩み、同友会であらゆる会

支援グループの代表を務めています。

取材の最後に川添さんの考える自立型企業について伺いました。

「社員一人一人が感謝・思いやりを持って対応している企業でしようか。そうすれば有機的に活性化する組織になって、チームワークよく協力していくでしょう。社員には仕事を通して成長してほしいと思っています」と締め切っていました。

取材協力ありがとうございます。

有限会社 あおぞら保険

創業 1965年
住所 筑紫野市武蔵4-1-3
電話 092-928-3250
従業員数 23名
事業概要 保険代理店のプロとして、損害・生命保険の両面からお客様をサポートします。



<https://www.aozora-hoken.com/>





文章/金光 孝男(南支部) 写真/平野 裕一(中央支部)

去る4月21日、同友会福岡地区会主催による「福岡市施策説明会 第3次福岡市中小企業振興プランについての座談会」がアクア博多にて開催されました。市内に事業所を置く会員33名と福岡市から9名の参加者が集い、福岡市が策定したプラン原案と令和7年度の施策について熱心な議論が交わされました。

福岡市よりプラン原案と施策の説明

まず、政策調整課の山下課長より、福岡市が目指す中小企業振興の方向性や重点施策について説明がありました。山下課長は、中小企業が直面する主な課題として、**人手不足、デジタル化の遅れ、事業承継の難しさ**の3点を挙げました。

● 人手不足

社会経済活動の活性化に伴い、ほぼすべての分野で「人手不足」が深刻化しており、令和6年度のアンケート調査では、中小企業が直面する課題の第1位に挙げられている。

● デジタル化の遅れ

デジタル化に取り組む事業者は、全体で83・4%となっているものの、取り組みの進捗状況には格差が見られ、デジタル化によるビジネスモデルの変革

や競争力強化にまで至っている企業はまだ少ない。

● 事業承継の難しさ

事業承継については、「候補者未定」「今は考えていない」と回答した経営者が45・2%に達しており、事業承継の遅れが目立っている。

これらの課題に対し、福岡市は「第3次福岡市中小企業振興プラン(令和7～10年度)」において、以下の3つの柱を中心に中小企業の振興を図るとしています。

1 人手不足の対策と生産性の向上

デジタル化、IT・DX化の支援、人材の確保・定着支援、海外人材の活躍促進、事業承継・事業転換支援など。

2 経営基盤の強化と持続的発展

資金供給の円滑化、経営相談、公共工事など受注機会の確保、商店街・伝統産業の振興など。



● 中小企業人材確保・定着支援

市内中小企業を対象に、経営層向けの意識改革セミナー、人事担当者向けのスキル向上プログラム、オンライン合同企業説明会、個別相談サポートなどを実施し、採用力向上や働きやすい職場環境づくりを支援する。

● 中小企業奨学金返還支援

従業員への奨学金返還支援制度(代理返還含む)の導入促進と、制度を導入している企業への補助を行うことで、市内中小企業等の人材確保と定着、就労促進を図る。市内に本店および本社を有し、就業規則等で従業員への返還支援制度を設け、金銭を給付していること(代理返還制度を利用している場合を含む)が主な要件となる。補助率は2分の1、上限額は1企業あたり1年度50万円まで。

● 「働き方改革」推進企業認定事業

福岡市内に本店または主たる事務所を有する企業を対象に、働き方改革に関する取り組み内容など所定の要件を満たす企業を認定する。認定企業に対しては、市ホームページでの紹介、福岡市商工金融資金制度における優遇措置、市が発注する工事・委託・入札等での優遇措置などがなされる。

これらの取り組みを通じて、福岡市は「直面する経営課題に柔軟に対応し、利益を生み出す中小企業が増える」ことを目指しており、その目標を定量的に示す指標として、「法人市民税(法人税割)の対象法人数」を設定し、2023年度の28,418社から、計画期間中に30,000社まで増加させることを目標としています。

続いて、経営支援課の坂本課長より、令和7年度に実施される具体的な施策について詳細な説明が行われました。主な施策として、以下の5つが挙げられています。

新会員フォローアップセミナー



第206回（6月開催） 現地



第206回（6月開催） Zoom

6月26日（木）に開催されました。今回参加された新会員は26人でした。

次回は9月27日（土）開催です。ご参加お待ちしております。

新会員フォローアップセミナー 部会長 右寺 武志（南支部）

2025年度 第2回 理事会だより

開催日時 2025年6月25日（水） 14時30分～17時30分
会 場 のがみプレジデントホテル
出席数 36名（出席率92.3%） 議 長 井上 明

○会員増強について

入会14名、退会27名（うち会費未納による退会1名）が承認された。
6月承認会員数は2,365名となった。

○「全体構想」に向けた協議

2030ビジョンを実現するため、来年度以降会員企業がよくなるために、支部で出来ること、地区でしてほしいことなどを話し合ってもらい、支部の7月、8月役員会の議題にあげてもらい、なにか足りないものがあれば、次回の理事会で発言をしてほしい。中間報告を7月11日までに事務局まで提出をすること、また、最終締切は8月18日とし、支部で出された意見をまとめた上で事務局に提出をすることが確認された。

○定時総会について

- ①第63回定時総会の質問・意見への回答、決算案
議案に対しての質問への回答について承認された。
総会の収支決算については継続協議とする。
- ②第64回定時総会 会場および日程について
第64回定時総会について、
会場 のがみプレジデントホテル、開催日時 5月15日金曜日
が承認された。

○企業づくりより

経営指針の成分化率と実践率について来月の役員会で集約をすることが依頼された。
また、企業変革支援プログラムVer.2の登録状況が共有された。（現在41社）登録目標は250社としている。理事の全員登録と、理事より役員会での登録の呼びかけをすることが依頼された。

○同友会づくり推進本部より

広報情報委員会より、広報情報委員を各支部から1名選出をすることが依頼された。

○総務財政室より

- ①中同協に登録している役員（県対応）の旅費に関する規定改定について
今までは中同協の会議に、代表理事や委員長が参加する場合の交通費を補助するものであったが、最近は代理出席や地方での会議もあるので、範囲を拡大した。また支給額の上限を増やしている。また、交通手配については、事務局にて1ヶ月前には手配をすることを基本とする。代表理事、委員長以外の対象者については、理事会にて承認となれば対象者とする。
上記について承認された。

○中同協関係

- ①定時総会代議員推薦及び女全交参加目標
横浜市で開催される中同協定時総会の参加者を代議員として推薦すること
東京で開催される女全交の参加目標を25名とすること
以上が承認された。

○会員企業の動き

- 経営革新計画承認企業
 - 2025年5月（県40件／うち同友会会員企業1件）
 - ※累計で福岡県全体では9,999件、会員企業は延べ582件です。
 - ・合同会社アイエスクリエイト 久保田 満穂さん（筑紫支部所属）
 - <テーマ4> 定額制デザイン・Web・ITサポートサービス
- 報道記事など
 - 2025年5月1日（木）有明新報（大牟田支部 インタビューシップの取り組み）
 - 2025年5月25日（日）毎日新聞（信号電材）
 - 2025年5月29日（木）西日本新聞（中山 英敬さん）
 - 2025年6月6日（金）有明新報（信号電材）
 - 2025年6月7日（土）有明新報（信号電材）
 - 2025年6月10日（火）西日本新聞（アンジュプラン）
 - 2025年6月11日（水）有明新報（Soil）

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。



グループ座談会 現場の声を行政へ

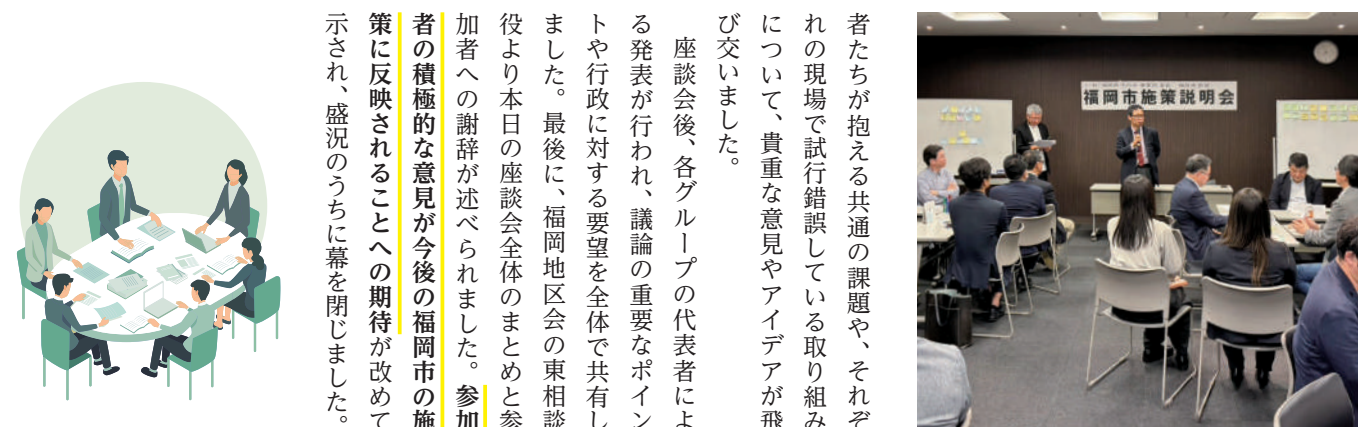
説明後、参加者は「人材不足・人材確保」「生産性向上・IT化」「事業承継・事業再構築」のグループに分かれて座談会を行いました。自社の経営課題や具体的な取り組み事例を踏まえながら、提示されたプラン原案や施策に対する意見や要望を付箋に書き出し、共有しました。50分間の座談会は、各グループとも熱気に満ち溢れ、中小企業経営

●官民連携事業承継支援事業

金融機関や士業協会などと事業承継支援コンソーシアムを設立し、情報の共有・交換を行うことで、地場中小企業の事業承継を官民一体で支援する。コンソーシアム設立、キックオフイベントの開催、コンソーシアムからの情報発信、各機関による専門性を活かした支援などを行う。

●デジタル活用支援事業

市内中小企業を対象に、デジタル化の進展に向けた意識醸成、デジタル化の進捗状況の診断、個別支援（伴走支援および人材育成）などを実施し、デジタルツールの導入・活用による業務効率化を支援する。



座談会後、各グループの代表者による発表が行われ、議論の重要なポイントや行政に対する要望を全体で共有しました。最後に、福岡地区会の東相談役より本日の座談会全体のまとめと参加者への謝辞が述べられました。参加者の積極的な意見が今後の福岡市の施策に反映されることへの期待が改めて示され、盛況のうちに幕を閉じました。



1 金 19:00~21:00

かすや支部
8月例会

納涼例会

- 竹乃屋 福岡空港店 福岡市博多区下臼井778-1
福岡空港 国内線3F 南側 ☎ 092-621-0020

18 月 18:30~20:30

有明支部
8月例会

人を活かす経営の実践 ～覚悟を決めて挑む労使関係～

- ランヴィエール勝島 柳川市南長柄町22 ☎ 0944-73-9181
- 降旗 美香 氏 有限会社Miyamaコーポレーション 代表取締役 (福友愛支部)

19 火 19:00~21:00

大牟田支部
8月例会

女性経営者に学ぶ経営指針の成文化と実践

- アウレア 大牟田市有明町1-1-22 ☎ 0944-32-9767
- 阿部 弘美 氏 株式会社ChouChou 取締役 (南支部)

19 火 18:30~21:00

博多支部
8月例会

納涼例会

都心の最上階で、仲間と語らう特別な時間

- il Cortile (イルコルティエーレ)
福岡市中央区大名1-2-5 イル・カセットビル8F ☎ 092-711-5903

19 火 18:30~21:00

福友和支部
納涼例会

六つの風・ひとつの和 -One Summer Junction-

- 八仙閣 福岡市博多区博多駅東2-7-27 TERASO-I ☎ 092-411-8000

19 火 17:45~21:00
(17:45~同友会を知る会 18:30~例会)

玄海支部
8月例会

経営者として どん底からドラマが始まる

- 天神ビル9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎ 0120-323-920
- 井上 明 氏 富士食品株式会社 代表取締役社長 (東支部)

19 火 18:00~20:15

北九州支部
8月例会

納涼例会

18時だヨ! 全員集合

- ミクニワールドスタジアム北九州
北九州市小倉北区浅野3-9-33 ☎ 093-521-2020

20 水 18:00~19:00

東・青年支部
8月例会

健康で経営! ～交流を深め暑い夏を乗り切ろう～

- ホテルクリオコート博多
福岡市博多区博多駅中央街5-3 ☎ 092-472-1111
- 加茂 真理沙 氏 コルギサロンひまり 代表者 (東支部)
- 武本 直也 氏 DIEZ パーソナルジム 代表者 (青年支部)

20 水 18:30~21:00

田川支部
8月例会

同友会田川支部って何のために存在してるの? 同友会の活用法

- 福岡県立大学 大セミナー室 田川市伊田4395 ☎ 0947-42-2118
- 荒川 雅光 氏 有限会社 英設備工業 代表取締役 (田川支部)

21 木 18:00~20:00

福博支部
8月例会

納涼例会

- Dining & Bar Terrace
福岡市博多区中洲2-3-8-2F ☎ 050-5283-1728

21 木 18:00~21:30

筑紫支部
8月納涼例会

筑紫支部の絆を深めよう!!

- 筑紫野温泉アマンディ 筑紫野市原田832-1 ☎ 092-926-2655

21 木 18:20~20:45

中央支部
8月例会

シン黒字経営とは 従業員のための企業規模拡大のススメ

- アクア博多 B会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎ 092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 北原 正 氏 社会保険労務士法人 COMMITMENT 代表社員 (南支部)

21 木 18:30~20:30

福友愛支部
納涼例会

伝え愛 ～共有から共感へ～ 福友愛支部 納涼会 in 2025

- With The Style ～ The North Gallery ～
福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎ 092-433-3900

21 木 18:30~21:00

ひびき支部
8月例会

時代の変化と自社の変化 たゆまぬ自社発展への取り組み

- コムシティ大会議室 北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎ 093-641-9360
- 橋部 智貴 氏 株式会社河村酒販 社長 (会外)

21 木 18:30~21:00

のおがた支部
8月例会

社長秘書はチャットGPT うちの会社ではこう使ってる! ChatGPT活用の実例

- コメニティのおがた 直方市山部364-4 ☎ 0949-25-1007
- 鈴木 尊氏 氏 株式会社BAOBAB 代表取締役 (のおがた支部)

地域づくり推進本部 情勢勉強会

不透明・不確実の時代を克ち抜く 全社一丸の経営戦略

22 金 14:00~17:30

- 福岡県中小企業振興センター 401会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-4F ☎ 092-622-6230
- 松井 清充 氏 中小企業家同友会全国協議会 参与

22 金 18:20~20:30

企業連携推進委員会
FAST8月例会

シンデレラ戦略実践セミナー 第4回「顧客維持戦略」

- 福岡同友会事務局全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15-11F ☎ 092-686-1234
- 深見 信吾 氏 深見経営株式会社 代表取締役 (東支部)

22 金 18:30~20:30

久留米支部・りょうちく支部
合同同友会を知る会

経営をもっと学びたい方のための同友会を知る会 同友会はよりよい会社づくりをめざす経営者団体です

- ハynesホテル久留米 久留米市天神町1-6 ☎ 0942-32-7211
- 中村 愛 氏 ことまる法律事務所 代表者 (福友和支部)
- 小川 尊弘 氏 株式会社小川製作所 後継者 (久留米支部)

第31期 経営指針作成セミナー(2泊3日合宿)

22 金 ~ 24 日

- おおむたハイツ 大牟田市甘木甘木山1203-116 ☎ 0944-58-3497

23 土 12:00~14:30

糸島支部
8月例会

キャンプの魅力とは ～人間関係を深めるヒント～

- HIDEAWAY sunset camp
糸島市二丈福井2625 ☎ 080-3988-2765
- 安田 竜太郎 氏
Pith(HIDEAWAY sunset camp支配人) 代表者 (糸島支部)

26 火 18:30~20:50

南支部
8月例会

経営者として動き出すその先に

- アクア博多 A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎ 092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 久米 純矢 氏 株式会社AISIC 代表取締役 (南支部)

26 火 18:30~21:00

飯塚支部
8月例会

備えあれば憂いなし 同友会ができる事

- パドドゥル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎ 0948-22-5138
- 富山 博史 氏
大牟田ビンテージのまち株式会社 代表取締役 (大牟田支部)

29 金 17:00~20:30

西支部
8月例会

納涼例会

～ 西支部全員集合 ～

- 高宮庭園茶寮 福岡市南区高宮5-16-1 ☎ 092-710-3364



